

EPUBの日中韓対応拡張を 目指して

ISO/IEC JTC1/SC34/WG4 コンビーナ
JEPA EPUB研究会 技術主任
国際大学 GLOCOM フェロー
村田 真

活動の目標

- ◆ EPUBの日中韓対応拡張を2010年中に確定すること
 - ◆ EPUBは日本語テキストレイアウト(とくに縦書き)に対応しているとは言えない。
 - ◆ EPUBを制定しているのは、IDPF(International Digital Publishing Forum) である。
 - ◆ 国内独自仕様を作るのではなく、IDPFの仕様として拡張する。

日本語テキストレイアウトのための 最小限の要求仕様(JEPA)

- ◆ 2010年4月1日に、要求仕様を英語文書で発表した。
- ◆ 4月7日に説明会を開催し、日本語による説明資料を提供した。
 - ◆ 縦書き、ルビ、縦中横、傍点...
- ◆ IDPFのEPUB拡張ワーキンググループの憲章からも参照されている。



日中韓ソウルワークショップ(1)

- ◆ 日時:
 - ◆ 2010-05-03/04
- ◆ 場所:
 - ◆ 韓国教育学術情報院 (KERIS), 韓国ソウル市
- ◆ 参加者:
 - ◆ 韓国(8名), 中国(1名), 日本(5名)
 - ◆ 後述するSC34の参加者が主体



日中韓ソウルワークショップ(2)

- ◆ 各国のEPUBへの取り組み状況
 - ◆ 韓国: Open Digital Publishing Forum (三省庁がバックアップ)を4月に設立し、EPUBは最も重要なフォーマットとして位置付けて取り組む。
 - ◆ 中国: 標準化のための委員会が4月末に出来たばかり。EPUBについての公式決定はまだない。
- ◆ EPUBへの要求仕様の検討
 - ◆ JEPAの要求仕様を説明
 - ◆ 中国・韓国の要求仕様は次回以降の課題

日中韓ソウルワークショップ(3)

- ◆ 日韓の協調について
 - ◆ 中国はまだ体制が出来ていないため、とりあえず日韓で始めることになった。
 - ◆ 日韓の省庁まで含めた形での連携？

IDPFのEPUBワーキンググループ への参加

- ◆ EPUB保守のためのワーキンググループ(80名以上のメンバがいる)に、JEPAから村田が参加している。
- ◆ EPUB拡張のための新ワーキンググループ(6月に発足予定)にもJEPAから村田が参加する。
- ◆ 韓国も、まもなく参加を予定している。

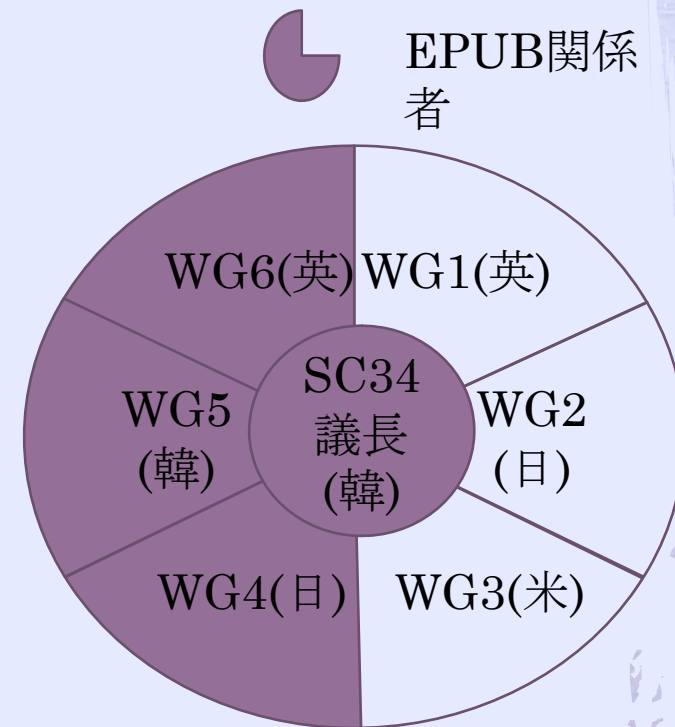
W3CのCSSワーキンググループ への参加

- ◆ EPUBに縦書きを導入するには、W3CのCSS(Cascading Style Sheet)に縦書きを導入しなければならない。
- ◆ CSSの縦書き関連拡張の新しいドラフトの编者としてアンテナハウスの村上氏(JEPAのEPUB研究会に参加)が加わった。
- ◆ 日本の要求仕様に応えて改良されたドラフトを4月に発行した。

ISO/IEC JTC1/SC34 文書の記述と処理の言語

◆ EPUBをISO/IEC JTC1 で規格化する場合に想定 される担当SC

- ◆ 幹事国は日本で、議長国は韓国
- ◆ 議長とコンビーナ(委員長)の半数以上がEPUB関係者



今後の予定

- ◆ 日中韓札幌ワークショップを8月に開催する。
- ◆ EPUB日中韓テキストレイアウト要求仕様を作成する。
- ◆ W3Cの縦書きCSS拡張を早期に完成させる。
- ◆ EPUB日中韓拡張仕様書のドラフトを作成する。
- ◆ EPUB拡張のためのIDPF新ワーキンググループにおけるCJK サブグループ設立を提案する。
- ◆ EPUBのSC34における国際規格化を検討する。